

不二製油(株)文化講演会

ガットフレイルをご存知ですか？

～健康の土台を作る、腸内細菌叢のお話～

開催日

2025年
10/11
Sat

講師

京都府立医科大学大
学院医学研究科
生体免疫栄養学講座

教授 内藤 裕二先生

内科学・抗加齢医学・消化器病学専門

1983年京都府立医科大学卒業、2001年米国ルイジアナ州立大学医学部分子細胞生理学教室客員教授として渡米。帰国後は、2008年京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学准教授、2015年本学附属病院内視鏡・超音波診療部部長、2021年から現職。農林水産省農林水産技術会議委員、2025大阪・関西万博大阪パビリオンアドバイザー、若狭おばま御食国大使を兼務している。著書に、消化管（おなか）は泣いています（ダイヤモンド社 東京 2016年）、すべての臨床医が知っておきたい腸内細菌叢～基本知識から疾患研究、治療まで（羊土社 東京 2021年）、健康の土台をつくる腸内細菌の科学（日経BP東京 2024年）など多数。ヒューマニエンス、あさイチ、クローズアップ現代（NHK）、世界一受けたい授業（日テレ）など出演。

時間

14:00～16:00

開場 13:30～

会場

スターゲイトホテル関西エアポート
5階「クリスタルの間」

〒5988511 大阪府東佐野市りんくう往来北1番地

定員

100名（事前申込不要）

参加無料



講演内容

ガットフレイルについて考える

第1部

人の病気は感染性疾患と非感染性疾患に大きく分けられます。免疫力の維持は、AIDS、HIV、SARS-COVID19など感染性疾患において極めて重要ですが、がん、糖尿病などの非感染性疾患の発症率、死亡率にも関わることが明らかにされています。心血管疾患、糖尿病の病態の増悪、老化スピードに慢性炎症が関わり、日本人死因の第一位である「がん」においても慢性炎症、免疫力が密接に関わっています。近年、腸内環境に関する研究が飛躍的に進歩し、全身の免疫力維持に腸内細菌とその代謝物が大きく貢献することが明らかとなりつつあります。その腸の健康に食・栄養の果たす役割が注目されるようになってきています。動物性高脂肪食、超加工食品、環境要因（薬剤、人工甘味料、マイクロプラスチックなど）は腸内細菌叢のディスバイオーシス、腸管バリア機能の破綻、粘膜微小炎症などいわゆる「ガットフレイル」を引き起こしています。ガットフレイルの病態解析が進歩することにより、食・栄養素など腸管腔からの対策が注目されつつあります。プロバイオティクス、発酵性食物繊維、腸管粘膜細胞の受容体刺激、老化細胞除去など様々なアプローチが提案されています。今回は、ガットフレイルの概念、病態について紹介し、健康長寿対策を考えたいと思います。

主催

NPO法人 りんくうメディカルプラザ

〒598-0048 大阪府東佐野市りんくう往来北
1番地 りんくうゲートタワービル

共催

不二製油株式会社 医療法人龍志会IGTクリニック
関西国際空港ロータリークラブ

リメッパ腸内細菌叢

検索

072-473-5510

